



## 発着信コールの概要

- ・インバウンドおよびアウトバウンドコールの概要 (1 ページ)
- ・着信コールと発信コールの情報 (1 ページ)

## インバウンドおよびアウトバウンドコールの概要

このパートでは、システムの着信コールと発信コールの設定方法について説明します。

## 着信コールと発信コールの情報

次のタスク フローを実行すると、システムの応用的なコール処理を設定できます。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">ゲートウェイの設定タスク フロー</a>	システムにゲートウェイを追加します。
ステップ 2	<a href="#">SIP の正規化および透過性</a> の設定タスク フロー	(省略可) Sip トランクまたは SIP デバイスに割り当てて、sip の相互運用性に関する問題を解決するための SIP 正規化および透過スクリプトを設定できます。
ステップ 3	<a href="#">SDP 透過性プロファイル</a> の設定	(省略可) SIP 展開で、Unified Communications Manager によってネイティブにサポートされていない SDP 属性のサポートが必要な場合は、サポートされていない属性を含む SDP 透過性プロファイルを設定します。
ステップ 4	<a href="#">SIP プロファイル</a> の概要	Sip トランクと SIP デバイス用の SIP プロファイルを設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	<a href="#">IPv6 の設定タスク フロー</a>	(省略可) SIP 導入で IPv6 デバイスのサポートが必要な場合は、システム内でデュアルスタック IPv6 サポートを設定します。デュアルスタックは、SIP 展開に対してのみ設定できます。
ステップ 6	<a href="#">SIP トランクの設定タスク フロー</a>	システムの SIP トランクを設定します。
ステップ 7	<a href="#">H.323 トランクの概要</a>	システムのトランクを設定します。
ステップ 8	<a href="#">Survivable Remote Site Telephony の設定タスク フロー</a>	SRST を使用するようにシステムを設定します。